

すまーバー

地震の動きに追従するボルト接合

開発経緯

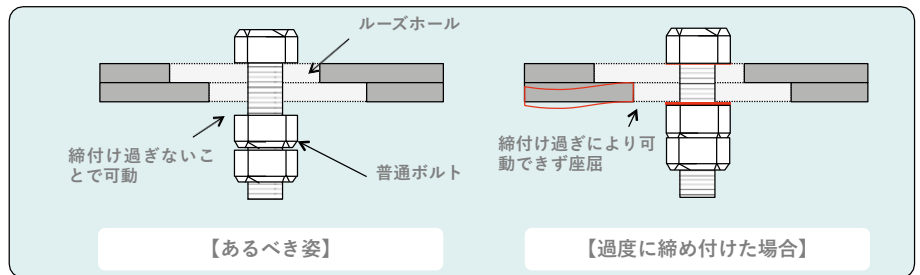
●地震や熱膨張に伴う変形に追従するために、旅客上家等に設けるエキスパンションジョイント（以下、EXP.J）は一般的にルーズホールを設け、緩み止め対策として普通ボルト・ダブルナットで接合する。



【旅客上家のEXP.J】

●普通ボルトの具体的な締結方法（トルク値等）が明確でなく、施工者によっては過度に締め付ける場合がある。

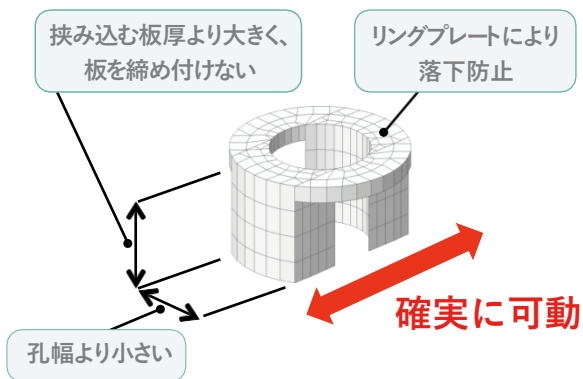
●過度に締め付けた場合、可動せずに構造体が損傷する可能性がある。



特長

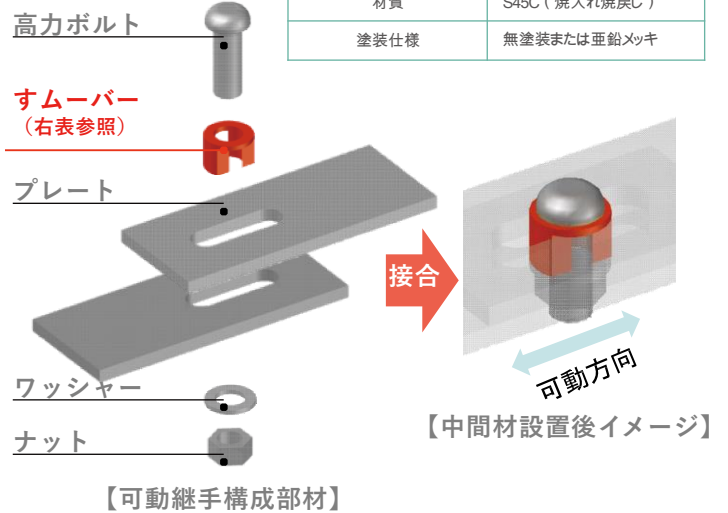
●ルーズホールに中間材（すまーバー）を設置し、高力ボルトで締結する事により、品質管理が明確であり、確実に可動する。また、高力ボルトで締結するため緩み止め対策上も問題ない。

中間材の特徴



すまーバーの仕様

材質	S45C（焼入れ焼戻し）
塗装仕様	無塗装または亜鉛メッキ



採用実績

●JR東日本：新白河駅ホーム旅客上家、板橋駅ホーム旅客上家

適用条件

高力ボルト種別	S10T,F10T,F8T
高力ボルト径	M16,M20
プレートの総板厚	$\Sigma t \leq 18 \text{ mm}$

知的財産権

●特許第6652425号

お問い合わせ

お問い合わせ	JR東日本 東京建設PMO 建築戦略 03-3493-1831（代表）
製造・販売	藤工業株式会社 0274-23-3028